

権力の暴走を止める仕組みやルールを考えよう

大統領が止まらない!

小学校
高学年

中学生

高校生



あらすじ

国民の尊敬を集める大統領が、隣国からきた芸術家の影響を受けて変わってしまいました。道路作りや水道管の修理のための税金が、芸術劇場の建設に優先的に使われるようになり、国民はもう我慢の限界です。国民の不満を抑えようとルールまで変更してしまう大統領。大統領の暴走はどうしたら止められるのでしょうか。

授業の詳細

- 対象 : 小学校高学年～高校生
- 関連教科 : 社会科・特別活動
- 授業時間 : 100分 (50分×2コマ)

プログラムのねらい

民主的に選ばれたはずの大統領が暴走を始め、国民の権利が侵害されていくという架空の事例を通じて、権力を暴走させないための仕組みやルールについて考えます。「立憲主義」や「三権分立」の根本にある「**権力をコントロールしようとする姿勢や意識**」を学ぶための教材です。

授業の流れ

国民が権力をコントロールするための仕組みやルールについて、弁護士が提供する「考えるヒント」を参考にしながら、さまざまな視点から全員で考え、ディスカッションしていきます。

紙芝居上演(15分)



35分

ディスカッション1

大統領の問題点

ディスカッション2

仕組みや制度について

30分

グループ発表

20分

弁護士による講評